

令和2年度 各係における教育活動重点目標

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、学校評議員・評価員へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

1 教務係

| 今年度の重点目標 | |
|----------|----------------------|
| ② | 生徒の学力向上を目指す |
| ② | 校務が円滑に行えるように計画・立案する。 |
| ③ | 生徒の出席状況の把握と先行指導 |
| ④ | 生徒の豊かな人格形成を助ける。 |
| ⑤ | 入試広報係と協力しての生徒募集活動 |

※評価【 〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|---|-----------------------------------|----|--|
| ① | 授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映 | 授業評価を実施し、授業改善に努めたか。 | B | 第1回の授業アンケートを実施しその結果を教科会でも検討をしている。授業を通してより一層の学力向上のための授業改善を教職員に要望していく。 |
| ①② | 教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫 | 計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。 | A | シラバスや選択授業をスマートフォンのQRコードから見れるようにし、紙の削減を図った。 |
| ① | 年3回(3年は2回)の実力テスト(実力診断テスト・到達度テスト・スタディサポート)の結果を利用したスタディサポート・スタディサプリを含めた学習活動への反映 | 結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。 | A | クラッシー・スタディサプリ(2年特編クラスのみ)の長期休暇の課題を設け、長期休暇の各教科からの課題も必ず出すよう指示をお願いしている。 |
| ①② | 授業時数の確保 | 年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。 | A | コロナウイルス感染拡大防止のため前期の予定を大幅に変更したが、授業時間確保を大前提に計画を練り直すことができた。 |

| | | | | |
|---------|---------------------------|---|---|---|
| ①② | 試験時間割・監督の日程 | 計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。 | A | 計画通りに進行中 |
| ①② ③ | 適切な年間計画の作成 | 年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。 | A | コロナウイルス感染拡大防止のため前期の予定を大幅に変更したが、授業時間確保を大前提に計画を練り直すことができた。 |
| ①② | 学校自己評価 | 学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。 | | 年度末に評価 |
| ②④ | LHRの計画・設定 | 学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。 | | 年度末に評価 |
| ② | 校内教研・テーマ学習会の立案・実施 | 研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。 | B | コロナウイルス感染拡大防止のため第1回の校内教研は中止した。5月からのオンライン授業のため教職員の校内研修をテーマ学習会に置き換えて行った。 |
| ③④ | 生徒の出席状況の把握と先行指導 | 毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。 | B | スクールマスターでデータ管理することで生徒の出席状況を把握しやすくなっている。朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。 |
| ② | 各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる | 一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。 | A | 説明会を開催し速やかな手続きができるようにしている。 |
| ①④ | 生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。 | 記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。 | A | 1.2 学年を中心に活用が進んでいる。今後も有効利用について研究を進める。 |
| ⑤ | 入試広報係と協力して入試業務を行う。 | 円滑に行えたか。(学校説明会・中学校訪問など) | A | 計画どおりに実施している。 |

2 進路指導係

| 重点目標 | 今年度の目標 |
|------|---|
| ① | 講演会やキャリアガイダンス等を通して進路に対して目的意識を育むとともに、主体的な進路実現を支援する。 |
| ② | 多岐にわたる進路における情報を適宜提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行うとともに、生徒の面接指導やプレゼンテーション指導等を支援する。 |
| ③ | 「e-Portfolio」「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」への情報収集を行うとともに、進路実現に有効に働くよう検討する。 |

※評価【〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|---------------------------------------|------------------------------------|----|---|
| ① | 三年間を見据えたキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。 | 各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画的に実施できたか。 | B | コロナ禍の中、例年参加しているビッグハットでの進路ガイダンスには参加できなかったが、3年生はオンラインを活用したガイダンスを実施することができた。 |
| ① | 就職希望者を主とし職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。 | 看護体験や事業所見学の希望者に対し、事前に趣旨や意義を指導できたか。 | C | コロナ禍によって、看護体験等がすべて中止となり、1年生対象の7月の職業ガイダンスも実施できないなど、思っていた指導を行うことができなかった。 |
| ② | 生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適切な進路情報を提供しアドバイスする。 | 生徒の進路意識に見合った進路情報を提供し、進路相談を行なえたか。 | B | 全学年classiを用いて進路アンケートを取るなど有効活用している。本年度は Teams というツールが追加となったので、より良いものが提供できるように研究する。 |
| ② | 生徒の学習の場を確保し、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。 | キャリアセンターやスタディホールの有効活用ができたか。 | A | テスト前だけでなく常に利用者がいる状態が続いている。コース、学年関係なく利用者が増えている。質問しに来る生徒も増えている点は評価できる。 |
| ②③ | 生徒の成績の把握・分析を行い、状況に見合う進路指導を行う。 | 「classi」を学習指導に役立てることができたか。 | B | コロナ禍での休校期間中には動画を配信するなど有効に活用できた。学力分析を含めた学習指導への活用には、必要か否かも含め検討の余地がある。 |

| | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| ③ | 研修会への参加及び校内での情報共有を行ない、職員間での共通理解を持つ。 | 教員の使用環境を整え、入試に問題なく活用する状況をつくることができたか。 | A | 本年度は教員対象の研究会も参加型のはすべて中止になったが、オンラインの研修会に学年で参加するなど、変わりゆく入試制度への対応に努力している。 |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--|

3 生徒指導係

| |
|-----------------------------|
| 今年度の重点目標 |
| ① 制服を美しく着させる |
| ② スマートフォンの利用ルールの徹底（SNS対策含む） |
| ③ 自転車の安全運転を徹底させる |
| ④ 駅構内・電車内のマナー向上 |
| ⑤ いじめの予防、早期発見、早期対応 |

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

| 目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|-------------------|---------------------------------|--------------------------|----|---|
| ① 制服を美しく着させる | シャツの第一ボタンまで締めさせる指導 | シャツの第一ボタンを締めさせる指導を徹底できたか | B | 入学式・始業式直後に休校になったため、冬服着用期間が極端に短かったため。また、集会等で着方を周知する時間もなかったので評価できない。ただし、着崩したり加工したりということは見られず、概ね正しく美しく着用出来ている。 |
| ② スマートフォン利用ルールの徹底 | スマートフォンの利用ルールを理解させ、守らせる指導 | 他係と連携。利用ルールが守られていたか | A | 休み時間の教室での使用や移動教室、空き教室にスマホが置きっぱなしの状態はほぼない。ルールが定着していることを実感する。2学期にスマホルール確認週間を実施予定。更なる定着を図りたい。 |
| ③ 自転車の安全運転徹底 | 生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導 | 運転マナーが向上したか | A | 例年実施している警察の講話等は実施できなかった。通常登校が始まってから、係で学校近くの危険個所での指導を実施。苦情の件数自体は多くないが、更なるマナーの向上に努めたい。 |

| | | | | |
|---|--|---------------------------|---|---|
| 今年度の重点目標 | | | | |
| ① 生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。 | | | | |
| ② クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。 | | | | |
| ② 他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。 | | | | |
| ④ 駅構内・電車内マナー向上 | 生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り | 乗車マナーが向上したか | C | 5月下旬に立て続けに乗車マナーの苦情をいただいた。急遽係で乗車指導を実施。その際は、改善点は見られなかったが、その後も乗車マナーでご指摘いただいている。2学期再度乗車指導を計画中である。 |
| ⑤ いじめの予防、早期発見、早期対応 | 生徒指導だよりや講和による啓蒙活動 いじめアンケートの活用、他分掌との連携 | いじめを未然に防げたか 適切な対応ができたか | A | いじめ防止対策委員会によるアンケートを実施。それを基に各クラス、学年中心に予防や早期発見に努めている。今後もアンケートの継続と啓蒙活動を実施したい。 |

4 生徒会係

評価表 ※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|---------------------------------|--|----|--|
| ① | 本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。 | 予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。 | A | 西高祭を開催することができた。制約は多かったが、その状況下であったからこそ得られたものが多くあり、生徒たちの行動力と発想力に感動した。 |
| ① | 太鼓の伝統を引き継ぐ。 | 太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。 | A | 休校となった関係で練習時間の確保が厳しい状況であったが、微塵も感じさせない演奏を西高祭で披露してくれた。 |
| ② | 委員会活動を活性化させる。 | 各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。 | B | コロナウイルスの関係で例年行っている活動の自粛を余儀なくされる活動が多かった。コロナウイルス感染防止対策の呼びかけを生徒会中心にもっと行っていきたい。 |
| ② | 話し合いを通して、協力体制をつくる力を身に着けさせる。 | 生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。 | A | オンライン生徒総会など初の試みとなることもあったが、リスクを想定しながら対処法を考えて計画的に進めることができた。 |
| ② | 集団指導体制を通して豊かな資質を育む。 | 各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。 | B | 多くの制約がある中で精一杯のことはできたと感じる。これから行うクラスマッチに期待したい。 |
| ③ | 他校や地域との交流を深める。 | 他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。 | A | オンライン会議で西高の様子を伝えたり、他校の様子を聞いたりした。共感しあうことで行動を起こす勇気が得られたと思う。また、西高祭で上田市の医療従事者支援のための募金活動を行った。 |

5 防災整美

今年度の重点目標

| | |
|---|-----------------------|
| ① | 管理箇所の点検や防災の推進を図る。 |
| ② | 年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。 |
| ③ | 全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。 |
| ④ | 学習環境や地球環境の保護意識を高める |

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|-------------|--|----|--|
| ① | 分担箇所の管理 | 破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保 | A | トイレ等水回りの美化が徹底され、コロナ対策の向上化が計れるようになっている。 |
| ① | 防災意識の啓発とそなえ | 生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施 | A | 放送や動画による防災訓練を実施。前例にない充実化を計れた。 |
| ②③ | 通学路清掃の推進 | 各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う) | A | 例年以上に美化意識を持ち徹底を継続している。 |
| ③④ | ゴミ分別の徹底 | ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画、寮生活における分別徹底の習慣化を計る | B | 研究室や寮のゴミの分別強化の報告を受けて、改善をしている。 |